

洋上風力発電事業支援

洋上風力発電事業を環境・海事で支えます



2050年「脱炭素社会」の実現に向け、洋上風力発電の主力電源化が進められる中、環境への配慮や地域との調和、建設時の航行安全や長期に及ぶメンテナンスなど海洋での事業特有の課題が浮上しています。

当社では、陸上風力などに係る環境アセスメントや防災船・作業船の運航など、これまで培ってきた経験・技術を基に課題解決をサポートします。



▶環境アセスメント

水平観測用・鉛直観測用レーダーやレーザー測遠システムを使用した鳥類・コウモリ類調査、水中音響調査装置を用いた超音波による海棲哺乳類調査、バットディテクターによるコウモリ類調査、動画やVRを活用したわかりやすい景観モニタージュの作成など、最新の調査・予測技術を導入して、客観的かつ高度なデータに基づく環境アセスメントを効率的かつ円滑に進めます。



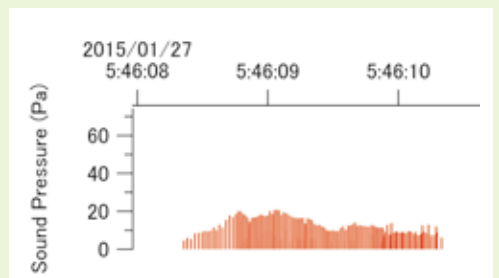
レーダーによる鳥類・コウモリ類調査



バットディテクターによるコウモリ類調査



海洋生物調査(卵・稚仔魚調査)



水中音響調査(イルカ類の鳴音)

▶ 漁業共生・海域環境保全コンサルティング

中部国際空港や発電所の周辺海域における藻場造成や有用水産資源の増殖放流試験、藻食性魚類の行動調査など、地域の漁業に役立つ取り組みを行ってきました。

洋上風力発電事業においても、風車の基礎などを利用した藻場造成、超音波バイオテレメトリー（バイオリギング）による魚類等の行動把握など、これまでの経験・技術を活かし、地域の漁業や海域環境と洋上風力発電所の共生に貢献します。



造成藻場の生育状況調査



造成藻場への育成アワビ放流



造成藻場に集まるイセエビ



バイオテレメトリー調査（魚への発信機装着）

▶ 海事コンサルティング

港湾施設である栈橋・航路建設に伴う航行安全対策の調査検討、防災船、作業船等の建造・運営管理など、地域港湾施設の航行安全に係る取り組みを行ってきました。

洋上風力発電事業においても、発電所建設に伴う航行安全対策の検討、工事中の安全管理、発電設備運用開始後に必要となるアクセス船（Crew Transfer Vessel=CTV）の検討・運航管理を通じて海の安全面から洋上風力発電事業を支えます。



当社所有防災船「たける」(19t)



当社所有曳船「かすが」(196t)